

(別添3)

## 【宮城県大衡村】

### 校務DX計画

令和2年度のGIGAスクール構想により、1人1台端末が導入されたと同時に校務支援システムも導入し、名簿情報管理、出欠席情報管理、成績処理、通知表及び指導要録の作成に加え、保健管理など様々な事務処理に対応しています。さらに、FAXや押印の原則廃止に向けた取り組みを進め、不必要な名簿情報の手入力を一掃することで、効率的かつ正確な校務支援を目指します。

1人1台端末導入前よりタブレットを導入しており、ICT教育に積極的に取り組んでいます。しかし、教育委員会と学校、保護者との間においては、一部アプリ等での配信を行っているものの、紙媒体や電話連絡でやり取りをしているものがほとんどであるため、校務のデジタル化が進んでいない状況下にあります。この課題を解消するために、クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進し、教職員間や関係者間の情報共有や業務の効率化を図ります。

また、第2期GIGAスクール構想がスタートしていく中で、教育分野でのICT環境の高度化を進めながら、校務においても教職員の事務負担軽減を図り、児童生徒との時間をより多く確保でき、持続可能なきめ細かな学習指導や生徒指導等、質の高い教育活動を実現するために、次世代校務システムの導入に向けた検討を進めています。

この次世代校務システムでは、クラウド環境の活用によるロケーションフリー環境の実現、名簿情報の一元管理と自動入力機能、不必要な紙媒体や押印を廃止した電子承認フローの整備、教育委員会・学校・保護者間の連絡を一元化する仕組みの構築、AIを活用した校務支援の導入、高度なセキュリティ対策の実施など様々な視点で将来を見据えて、先進地の事例も参考にし、段階的な実施を計画するなど、円滑かつ効率的な整備を進めていきます。